

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市自殺対策協議会		
事務局 (担当課)	精神保健福祉課 電話 042 - 769 - 9813 (直通)		
開催日	令和3年1月29日(金)～2月10日(水)		
出席者	委員	18人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	6人(精神保健福祉課長、精神保健福祉センター所長、精神保健福祉センター所長代理、外3人)	
公開の可否	可    不可    一部不可	傍聴者数	
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面会議のため		
会議次第	<p>議題</p> <p>(1) 相模原市の自殺者の状況について【資料1-1、1-2】</p> <p>(2) 計画の進行管理と自殺総合対策の推進について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 関係機関・団体等の取組について【資料2-1】</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 市役所の取組について【資料2-2】</p> <p>(3) 市民アンケート調査項目について【資料3】</p>		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の意見、 は事務局の説明)

( 審議を書面等で行った理由 )

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により審議会委員等の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

( 1 ) 相模原市の自殺者の状況について

このことについて、事務局から資料 1 - 1、1 - 2 を送付し、書面により審議を行った。

直近 5 年間で市の自殺者数・自殺死亡率が減少した要因をどのように分析しているか。また、特に効果があった取組はあるか。

各取組の相互作用によるものであり、市民や関係団体、市等が連携し、継続的に自殺総合対策に取り組んだ結果であると考えている。

令和 2 年における自殺者数の増加は、コロナ禍や著名人の自殺報道が続いた影響もあると考えられる。前年に比べて本市の自殺者数増加率は、全国及び神奈川県と比較して高いが、どのように分析するか。また、全国では、女性や小中高生の自殺が増加しているが、本市も同様の傾向か。

令和 2 年の速報値では、前年より 4 6 人増となったが、男女比については、過去の傾向と大きな変化はない。また、小中高生を含む 2 0 歳未満の自殺者数は、令和元年より 1 名増加している。属性や原因・背景等については、確定値を基に分析を行い、公表する予定である。

3 0 歳代、4 0 歳代の働き盛りと 7 0 歳代の自殺者数が多いのは先行きの不安から来るものと思われる。この世代への更なる支援が必要ではないか。また、社会的に問題となっている一人暮らし、SNS の影響への対策が必要ではないか。

市民一人ひとりに寄り添い、孤立や生きづらさを解消する取組を実施していく。

また、SNS の影響については、小中学校を対象としたネットパトロール等の取組により、児童生徒がサイバートラブルに巻き込まれないよう取り組んでいく。

社会の状況を考えると令和 3 年についても自殺者の増加が予想される。現段階で強化している、又は今後強化していく取組等はあるか。

大学生や子育て家庭への食材支援の実施や生活に困窮するなど、様々な困りごとを抱えた方へのアウトリーチによる支援等を行ったほか、若年層への自殺対策として、小中学生向けに「こころのクリアファイル」を配布した。引き続き、社会の状況を踏まえ、関係機関等と連携し、自殺総合対策を着実に実施する。

## (2) 計画の進行管理と自殺総合対策の推進について

### ア 関係機関・団体等の取組について

#### イ 市役所の取組について

このことについて、事務局から資料2-1、2-2を送付し、書面により審議を行った。

様々な分野で相談件数が増加していると推測するが、市民に必要な情報を提供できるよう職員の能力を高める必要があるのではないかと推測する。

市職員研修にゲートキーパー研修を導入しているほか、精神保健に関する専門知識を学ぶ機会を設けている。また、市自殺総合対策に係る庁内会議を設置し、自殺対策に関する認識を共有するなど、全庁的に自殺対策に取り組んでいる。

- 広報さがみはらの表面か裏面に記事を掲載するとともに、相談しやすい感じのするデザイン等に工夫するのはどうか。また、自治会掲示板や集客の多い場所へポスター等を掲示することを検討してはどうか。

引き続き、効果的な方法により実施していく。

- 「リブチャンネル」の令和元年度通年アクセス数が33,121件であることをどう評価しているか。また、市ホームページの新型コロナウイルス感染症特設ページに「リブチャンネル」のリンクを貼るなどし、相談窓口等につながるようにしていただきたい。

市民への周知及び情報提供に一定の役割を果たしていると評価している。リンクの貼付については、自殺対策特設サイトの特性等を考慮しながら検討する。

コロナ禍を受けての経済支援のさらなる充実も必要である。

必要な人に必要な支援が届くよう、相談窓口や支援策について周知するとともに、引き続き関係団体等と連携していく。

うつ病対策は、発症するに至った背景も含め、重点的な取組が必要である。

市民のメンタルヘルスの啓発に係る取組や内科医等かかりつけ医のうつ病に対する理解向上・専門医との連携促進を目的とした研修等を継続して実施する。

## (3) 市民アンケート調査項目について

このことについて、事務局から資料3を送付し、書面により審議を行った。

- 市民アンケートの実施方法及び対象者の抽出方法は何か。

市民アンケート調査は郵送により実施し、対象者は住民基本台帳から等間隔系統抽出での抽出を予定している。平成24年度及び29年度調査結果と比較するため、対象者の年齢は過去の調査と同様20歳以上を予定している。

回答する人が答えやすい工夫や回答率を上げるための取組はあるか。

質問用紙には、次に回答すべき設問に誘導する矢印及び文言を入れる予定である。また、未回答者に対して、期限前に回答依頼の通知を送付する予定である。

- 調査項目 2 1 - 2 - 3 について、自由記載ではなく、選択肢を設けた方が回答も集計もしやすいのではないか。
- コロナの影響・苦しみについての項目を加えるのが望ましいのではないか。その他にいただいた御意見も踏まえ、設問の表現等について検討する。

以 上

## 自殺対策協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	新井 久稔	北里大学医学部		出席
2	佐藤 聡一郎	相模原市医師会		出席
3	土屋 敦	相模原市病院協会		出席
4	田中 弘子	相模原市薬剤師会		出席
5	岡田 眞一郎	相模原地域産業保健センター		出席
6	城上 浩美	相模原市立小中学校長会		出席
7	取住 悦子	相模原商工会議所		出席
8	松浦 千鶴子	日本労働組合総連合会 神奈川県連合会 相模原地域連合		出席
9	甲斐田 沙織	神奈川県弁護士会		出席
10	比留川 昇良	神奈川県司法書士会	会長	出席
11	戸部 恵美子	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
12	田代 明寛	相模原市自治会連合会	副会長	出席
13	十川 いづみ	横浜いのちの電話		出席
14	和泉 貴士	全国自死遺族総合支援センター		出席
15	関本 真里	公募		出席
16	宮崎 周二	公募		出席
17	能沢 日世志	相模原公共職業安定所		出席
18	森 俊行	神奈川新聞社		出席
19	蒔田 克	相模原警察署		欠席